

◆パネルディスカッション①〔図書館経営と館長の職務〕◆（講師：小西 喜之）

質問3

砺波の園芸部・美化部のボランティア活動が興味深かった。本ではないところで図書館へ貢献したいという気持ちの醸成を形にしていくことは難しいと思います。きっかけがあったら教えてほしいです。

回答

・新砺波図書館の開館に合わせ IC タグを活用した自動貸出機を導入しました。新館オープン時は来館者が増え図書館利用カードの申請等も増え、カウンター業務が煩雑になることから自動貸出機の利用案内に職員を配置することが困難と想定し、短期間のボランティアを募集しました。20名を超える方の応募があり、ローテーションを組みながらオープン後の過渡期を乗り切りました。

2か月も過ぎたころから、自動貸出機の利用方法も利用者の方々に浸透し、ボランティアさんの出番が少なく始めたことから、配本などのお手伝いをお願いするようになりました。「配本は苦手なので、図書館の外回りのことや椅子の整頓をしたい。」という方もおられたことなどから活動内容について相談し、美化部・園芸部・広報部の3部編成で新たにボランティア募集をかけ、現在に至っています。

出典 R4.11 [「広報となみ」](#)より（2頁から5頁）図書館のボランティアについて掲載されております。参考にしていただければ幸いです。

参考：[広報となみ 202211WEB 抜粋](#)

質問5

砺波市では開架スペースでの配本並びに蔵書整理にボランティアが行っているとの話を伺いました。ボランティアが作業中にケガ等をした場合の保障、あるいは利用者がボランティアがいることで図書館として来館者の個人情報の保護に抵触しないかとの問題もあろうかと思われませんが、図書館はどのような対策を講じておられますでしょうか。

回答

・作業中にケガ等をした場合の保障については、ボランティア保険の加入を促しており、掛け金は本人が支払っている。

・ボランティアがいることで図書館として来館者の個人情報の保護に抵触しないかとの問題については、ボランティアが配本する資料は、事務室で返却処理をし、それを分類ごとにブックトラックに並べ、30～40冊まとまった段階で事務室外にて引き渡すため、個人情報には結びつかないと考えています。